

仙台市ガス局 なぜ民営化？

公営の値打ちを見直そう

2020年11月13日 日本共産党仙台市議団

仙台市は、市ガス事業を民営化しようとしています。買取り公募に東北電力と東京ガスなどのグループ企業が手をあげました。これまでの公営から民間会社の経営になれば、どうなるのでしょうか――

①市民への説明会は、いっさいないまま

創業111年、市営79年の歴史をもつ仙台市ガス局は、34万戸に都市ガスを供給する、公営ガスの中では全国一のガス事業です。資産総額548億円。この巨大な公共財産を、民間会社に売却することについて、市民への説明会はいっさい開かれません。広く市民から意見を募るパブリックコメントも実施しないという、異常な事態で進んでいます。民営化推進委員会も公開は初回だけ、2回目以降は非公開です。

同じくガス民営化を進めている金沢市は、パブリックコメントを実施し、市民からは「営利を目的とする株式会社の事業とすべきではない」などの意見が出されています。同市では、利用者6万世帯に意見を求めるダイレクトメールも出しました。公共＝市民の財産を売却しようというのですから、市民の意見を聞くのは、当然です。

・売却価格「400億円以上」の根拠も明らかにせず

仙台市は譲渡価格を400億円以上としています。資産総額548億円に対し、400億円以上とした根拠は？それは適正価格なのか？これらについて議会で問われても仙台市は、いっさい答えません。

②民営化でガスがもうけの対象に

・「様々なサービスが提供できる」というけれど…

東北電力の樋口康二郎社長は、民営化で「電気とガスのセット販売などさまざまなサービスを提供できるようになる」（10月28日記者会見）と言

計34万戸もユーザーがいるのに、説明会も意見公募もいっさいなし。

仙台市ガスお客さま数

	計	うち家庭用
仙台市	32万1,018戸	30万3,345戸
多賀城市	7,160戸	6,925戸
名取市	6,329戸	6,195戸
富谷市	4,287戸	4,124戸
利府町	4,818戸	4,647戸
大和町	226戸	200戸
大衡村	9戸	—
計	34万3,847戸	32万5,436戸

2019年度末

仙台市ガスは、全国19の
公営ガスで最大規模

- ・売上高 … 1位
- ・ガス販売量… 1位
- ・お客さま数… 1位

ます。

いま民間のガス供給事業者は、ガスと電気のセット販売のほか、家電トラブルやトイレづまりの解決、玄関鍵を紛失したときの対応など、ガスの販売にいろんなサービスを付加しています。家族の外出や帰宅をスマホにお知らせするサービスまであります。仙台市は、こうしたサービスを市民が受けられるようにするため、ガス局を民間会社に売り渡すというのですが、こんな理由で公共の責任を投げ捨てていいのでしょうか。いったい、これらのサービスは、市民が切に望んでいるものなのか。ガス販売大手・ニチガスのお客さまサービスの名まえは『大きなお世話』。月額料金を500円プラスするごとにセットのサービスが増えていきます。

・ガス料金は、どうなる？

市はガス料金について、民営化後5年の間は、値上げしないことを売却条件としています。これまでは、料金変更の際には、市議会の議決を必要としてきましたが、民営化すれば、市や議会の関与はなくなり、料金は、買い取った民間事業者が自由に決めることができるようになります。

国の政策で2016年に電力、2019年にガスの小売が完全自由化され、電気とガスの販売にいろいろな事業者が参入できるようになりました。仙台市は『ガス局民営化計画』のなかで、公営のままだと「他のエネルギー事業者との競争環境に対応できず…お客さま数、収益が減少していく恐れがある」としています。

しかし、仙台市ガス事業は、32万世帯にのぼる家庭用料金が経営を安定して支えています。ここ5年間、毎年20億円前後の黒字をだし、経営見通しも良好です。なにより、市場競争がどうなろうと、自治体の力で安定して市民に供給するという公営の強みがあります。

東北電力と東京ガスの巨大企業グループが仙台市ガスを買取れば、市場独占になってしまうのは、目に見えています。「市は、民間事業者が参入すれば競争が促され、料金の引き下げにつながるとみている」（地元マスコミ）との報道もありますが、競争どころか市場の独占となり、料金もサービスも大企業の思うままになるでしょう。

・「地域経済が活性化する」ってホント？

仙台市は「新たな雇用の創出、地元の関連事業者の取引機会の拡充など、地域経済の活性化も期待できる」（『民営化の必要について』）としています。しかし、大企業に買収されれば、その系列業者が優先され、地元業者が参加する余地は、ぐっと狭まるでしょう。実際、地元の関連業者の多くが、仕事がなくなるのではと懸念の声をあげています。

なにより利潤追求が最優先され、市民サービスは二の次にされます。利潤は、真っ先に株主に配当され、その株主が県外にいれば、その分利潤は、県外へ流出することになります。民営化には、東京ガス（本社・東京都）も名乗りを上げており、東北で吸い上げた利益は、東京に持っていかれてしまいます。

現在の公営下では、ガス局の土地、建物の固定資産税は免除されていますが、民営化すれば、民間事業者が支払うことになります。市は「新たな税収」と言っていますが、会社負担のしわ寄せは、市民にくるでしょう。



ニチガスのサービス
『大きなお世話』（リーフレット）

仙台市ガスは毎年黒字

	黒字額
2015年度	約33億円
2016年度	約18億円
2017年度	約19億円
2018年度	約22億円
2019年度	約28億円

東京大学社会科学研究所・松村敏弘教授（2014年5月7日第186回国会・衆議院経済産業委員会での参考人意見～電力小売全面自由化に関連して）

「競争メカニズムが十分に働けば価格は下がると私は思っておりますが、しかし一方で、自由化した結果として規制なき独占というのが起こってしまうおそれがあるので、これにたいする備えというのも一定程度必要だ」

同（2015年4月28日第189国会・衆議院経済産業委員会での参考人意見～電力とガスの小売自由化に関連して）

「自由化したときの最大の懸念というのは、規制なき独占になってしまうのではないか。自由化をすると、値上げする自由というものだけが得られて、実質的な競争が起きないということになったら大変だ」

・東北電力+東京ガスの利益戦略

東北電力は「中期経営方針」(2017～2020年度)で「ガス事業の強化」を掲げ、販売量を34万ト(2017年度)から60万ト(2030年度)へと倍近くに拡大する方針です。

同社は、すでに子会社の東北天然ガス(株)を通じて、ソニーやサッポロビールなど大企業の工場に、大量のガスを販売しています。工場への販売価格は、個別の折衝で決める仕組みになっており(相対取引)、東北電力と東京ガスのグループ企業が仙台市ガス局を買取れば、大口販路の拡大のため大企業向けの料金を、いっそう引き下げていくでしょう。そのしわ寄せが一般家庭のガス料金や耐震化事業などに跳ね返ってこないとも限りません。

東北電力と東京ガスは、すでに東京に共同会社・(株)シナジアパワーを設立し、関東圏で工場などを顧客相手に電力の販売を進めています。今度は、東北地方のガスと電力の市場を独占しようというのです。

仙台市ガスの顧客の大部分、95%を占めるのが一般家庭です。この一般家庭へのサービスと安全を公営の力で維持、発展させてきた仕組みの土台が、企業のもうけのために崩され、市民が二の次にされる一ここに民営化の本質があります。

③公営ガスをまちづくりにいかそう

・水道、卸売市場について…

いまコロナ禍のもとで、たくさんの人びとが問題視している「新自由主義」とは、国や自治体が福祉や市民サービスを縮小し、公共の仕事を民間の市場競争に明け渡してきた政治です(「小さな政府」、民営化)。コロナでは、医療を縮小してきた国々で医療崩壊がおき、日本でも保健所などを縮小してきたツケが、社会と国民へ跳ね返ってきています。いま世界中で、新自由主義の再考を求める声が、立場の違いを乗り越えて広がっています。民営化は、まさにいま、立ち止まって考え直さなければならぬことなのです。

ところが宮城県と仙台市では、水道の民営化や仙台市中央卸売市場の大手参入規制の撤廃につづき、ガス事業まで民営化されようとしています。

・ドイツの再公有化の流れと仙台の未来

ドイツでは、1980年代から90年代にかけて、新自由主義にのり、電力やガスの民営化を進めました。ところがいま市町村は、かつて民営化した電力やガスを買戻す方向に大きくカジを切り始めました。3分の2の自治体はその検討をはじめたとされています。ドイツ政府は、福島原発事故を契機にエネルギー政策の大転嫁を決断しました。そのもとで市町村

東北電力の販売目標

東北電力グループ中期経営方針
(2017～2030年度)

・販売電力量

751億kwh→901億kwh
(2015年度) (2030年度)

・販売ガス量

34万ト → 60万ト
(2015年度) (2030年度)

東北天然ガス(株)の 主な供給先

- ・東北電力
- ・仙台市ガス局(市の全購入量の3分の1を占める)
- ・山形ガス、福島ガス
- ・ソニー仙台テクノロジー
サッポロビール仙台工場
TDF宮城工場

※仙台市は、トヨタ工場(大衡村など)と大口取引をしている

中山琢夫・京都大学大学院経済学研究科特定講師

「日本でも、現在の公営ガス・発電事業の民営化の動きによって民間譲渡を安易に進めてしまい、例えば20年後にやはり再公有化しようとするような動きになると、その機会費用は莫大になる。そうならないように、今は長期ビジョンを持って、慎重に十分な議論をしておくべきではないだろうか」(2020年2月13日、京都大学大学院再生可能エネルギー経済学講座より)

は、配電網やガス導管を買い戻し、エネルギー配分の権限を握り、地域交通をはじめとしたまちづくりに、ガスや電力をいかそうとする試みです。もうけよりも適切な価格にして、環境にやさしいまちづくりに生かそうとするものです。

ただ、ガスや電力のような優良（黒字）事業は、一度民営化したものを買戻すのはなかなか大変で、譲渡価格などで折り合いがつかず、市町村はいま、苦勞の途上です。

いま市政が目指す方向は、公営ガスの強みを発揮し、市民への安定供給はもちろん、交通や福祉の整備はじめ便利で安心のまちづくりに公営ガスをいかしていくことです。「サービス」を言うなら、こうしたまちづくりこそ、希望がわくのではないのでしょうか。

④公営79年。使命は市民への安定供給

市営79年。仙台市ガス事業は「市民第一」を信条に、今日まで歩んできました。ガス供給事業を連綿（れんめん）と支えてきたのは、市ガス局職員のみなさんです。

東日本大震災のとき、ガス復旧に不眠不休であたる市ガス局職員と全国から応援に来たガス会社の人たちの姿は、市民の目に焼き付きました。ガス局災害対策本部は、開栓を待ちわびる市民に修繕作業の進捗情報、翌日の開栓地区の情報を刻々と伝えました。当時、ガス局ホームページへのアクセス件数は、1日12万件にのぼった日もありました。

1978年の宮城県沖地震以来、市ガス局は、災害に強いガス事業をめざしてきました。ガス導管に耐震性のあるポリエチレン管を導入。この導管は、東日本大震災でもびくともしませんでした。また、大災害時に供給の全面停止を避けるため、供給区域を12ブロックに分け、被害の少ないブロックは、継続して供給できる体制を整備してきました。

こうして東日本大震災では、25日間という予想を超える早さで供給再開が成し遂げられました。「もう二度と供給は止めない」（『東日本大震災の記録』市ガス局刊）。市ガス局が表明した決意です。

もうけよりもなによりも、市民に安全に安定して供給する。ここに仙台市ガス局が最大の使命としてきたもの、公営の本領があります。郡市政がいま、立ち止まり民営化を再考し、公営の役割を見直すことを訴えます。

燃焼で発生するCO₂の比較

天然ガスは環境にやさしい

天然ガス
57

石油 80

石炭 100

※石炭を100とした場合

（株）日本経済研究所（全国の公営ガスの民営化計画を支援している）
社会インフラ本部主任研究員 高平洋祐

「地方公営企業の経営の基本原則は『公共の福祉を増進する』（地方公営企業法3条）ことにある。独立採算が原則ではあるが、民間事業のように出資者への配当等を考慮する必要はなく、一義的にユーザーの利益を優先した経営が実践されるはずである。自由化を迎え、事業譲渡も重要な選択肢には違いないが、公共であることの強みを活かしつつ、地域に根差した創意工夫あるサービスが生まれることにも期待したい」（『ガス自由化と地方公営ガス事業』筑波経済月報2017年11月号）

公営の力発揮して

〇…市は、天然ガスをマレーシアからのタンカーと新潟～仙台間のパイプラインの2系統で受け入れています。民営化推進委員会の委員長も「これが東日本大震災のときに、かなり役にたった。仙台市の経験は重要」と述べています。

『東日本大震災の記録』

（仙台市ガス局刊）から



…（市民より）「20日ぶりのお風呂、胸が熱くなる思いで入りました」

…（市民より）「今、ニュースで応援隊の皆様の様子を拝見。ありがたく涙が止まりません」

…（ガス局保安課長）「最も効果的に力を発揮したのは『人』だと思います。何としてでもガスを復旧しなければという使命感、ガス漏れの困難な現場に

懸命に臨む職員の姿に、熱い信頼感がこみ上げてきました」

…（総務班）「ほとんどの職員が体力的にも精神的にも限界に近い疲れやストレスを抱えていた。…職員一人一人が1日も早い供給再開を願い、それまでは絶対に倒れるわけにはいかないという責任感を持ち続けた結果、誰一人欠けることなく復旧業務を完遂できた」